

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：日本学術会議主催学術フォーラム「大学教育の質的転換を考える  
分野別の参照基準と人文・社会科学教育の可能性」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

・後援：国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会

3 開催日時 平成 25 年 2 月 2 日（土）13：00～17：00

4 開催場所 日本学術会議講堂

5 開催趣旨

日本学術会議では、文部科学省からの審議依頼を受けて、学士課程教育の質保証に資するため、各分野の教育課程編成上の参照基準の作成を進めている。

昨年 8 月に経営学分野の参照基準を初めて作成し公表したが、その後現在までに言語・文学分野と法学分野の参照基準を作成し公表した。

本フォーラムでは、3つの分野の参照基準についてその概要を紹介するとともに、学士課程教育の質保証のために参照基準をどのように役立てるのかをテーマとして、パネルディスカッションを行った。

また、中央教育審議会の大学分科会で大学教育部会長を務めておられる佐々木雄太先生をお招きして、昨年 8 月に出された答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」を紹介いただくとともに、パネルディスカッションに参加していただいた。

6 参加人数

講演者等：20 名

その他の参加者：約 150 名

7 特記事項

- ①一般への告知が遅かったにもかかわらず参加者も多く、一定の成果を得られた。
- ②パネルディスカッションの際に、来場者との質疑応答の時間を設けた。（質問票へ記入して頂き、それについて回答するという手法をとった。）質問が多く、かつ内容が多岐にわたり、時間が足りなかったが、テーマへの関心の高さがうかがえた。
- ③アンケート調査を行い、今後順次策定していく各分野の参照基準を作成する際の参考として活用する。